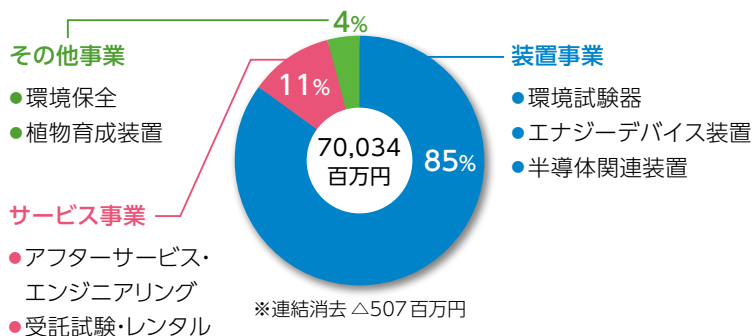
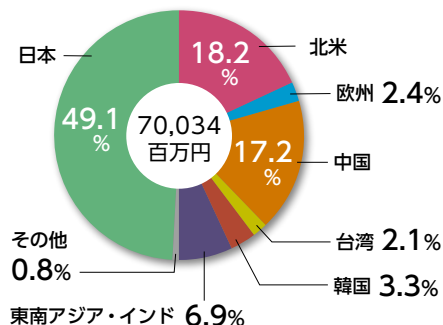


事業セグメント別概況

事業セグメント別売上高構成比



地域別売上高構成比



装置事業

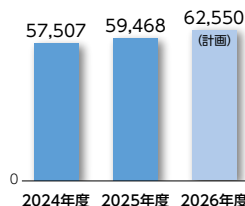
環境試験器については、国内市場では、EV・バッテリー向け投資の一服感により前年度比で受注高・売上高ともに減少しました。海外市場では、北米、東南アジアの受注高が大幅に増加しましたが、大型製品や複数台一括といった長納期案件の増加や経済減速に伴う欧州、韓国の減少により、売上高は前年度並みとなりました。中国はデフレ経済の影響による競争激化はあったものの、受注高・売上高は前年度並みとなりました。エナジーデバイス装置については、EVバッテリー向け投資の一巡により受注高・売上高ともに減少しました。半導体関連装置については、受注高は減少しましたが、売上高はAIサーバー用電子部品向け一括案件の売上計上により大幅に増加しました。装置事業全体では、売上高は前年度比で3.4%増加しました。利益面については、カスタム製品の利益率改善は進んだものの、中国市場の収益性低下に加え、受注高の伸長や研究開発費の拡大などにより販管費が増加し、営業利益は前年度並みとなりました。



高度加速寿命試験装置 (HAST CHAMBER)
2025年10月、大型基板対応モデルを発売

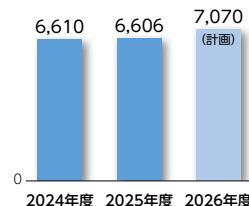
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



サービス事業

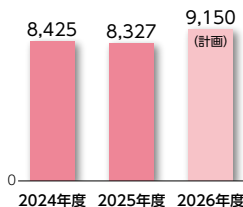
アフターサービス・エンジニアリングは、予防保全・修理ともに堅調に推移し、前年度比で受注高・売上高ともに増加しました。受託試験・レンタルは、受託試験にてEV需要減速に伴う顧客の投資抑制や開発計画変更の影響を受け、受注高・売上高ともに減少しました。サービス事業全体では、売上高は前年度比で1.2%減少しました。営業利益は、値上げなど収益性改善に取り組んだものの受託試験の減収、減価償却費の増加により、71.2%減と大幅に減少しました。



あいちバッテリー安全認証センター
国連規則の安全性試験についてISO/IEC17025 試験所認定を取得

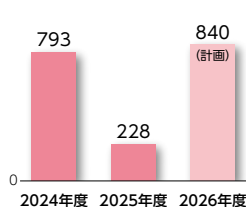
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



その他事業

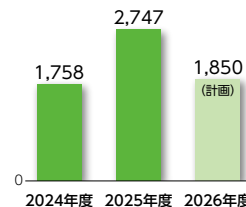
環境保全事業および植物育成装置事業を中心とするその他事業では、植物工場の大型案件の受注を獲得するとともに、緑地の改修工事に関する案件を獲得しました。こうした結果、前年度比で、売上高は56.3%増加しました。営業利益は、増収により前年度比88.7%増と大幅に増加しました。



日本大学工学部 ロハス工学センター棟の屋上緑化(福島県)
マット状の植物苗を敷き、約250㎡の屋上にチガヤの草地を創出

売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)

